

《平成18年度年度計画の概要》

I. 大学の教育研究等の質の向上

1 教育研究

(1) 教育内容等

① 入学者選抜の改善

- ・AO入試の充実(工学部 3学科→5学科)や入試募集単位の検討

② 教育内容の充実・改善

- ・現代GP取組事業を通じた学部教育の充実 [人間社会学部、看護学部]
- ・「魅力ある大学院教育」イニシアティブ取組事業を通じた大学院教育の充実 [看護学研究科]
- ・JABEE の認定取得に向けた計画的な取組 [工学部、生命環境科学部]

③ 多様な教育・履修システムの構築

- ・副専攻履修制度の導入(「堺・南大阪地域学」の開設)
- ・社会人リカレント教育の充実
サテライト教室の運営[経済学研究科]、長期履修制度の導入準備

④ 適切な成績評価等の実施

- ・学力不振の学生への指導及び退学勧告制度導入の検討

(2) 研究水準等

① 目指すべき研究の水準

- ・学術論文の発表及び学術講演・学会発表の水準及び件数の向上

② 大学としての重点的な取組み

- ・IT、バイオ等の重点的研究や産学官共同プロジェクト研究等の推進
- ・21世紀COE、現代GP及び「魅力ある大学院教育」イニシアティブの取組事業の推進

③ 成果の社会への還元

- ・企業等との共同研究や自治体との連携推進、多様な公開講座の実施

(3) 教育研究の実施体制

① 教育研究体制の充実

- ・総合リハビリテーション学研究科(修士課程)の設置準備(平成19年4月開設予定)

② 全学教育研究組織の確立

- ・教育改革の推進及び多様な公開講座の提供 [総合教育研究機構]
- ・図書館システムリプレイス(H19.3)に向けた取組み [学術情報センター]
- ・全学的産学官連携の推進 [産学官連携機構]

③ 附属施設の展開

- ・臨床心理相談室の開設

(4) 学生への支援

- ・相談機能、経済的支援、就職支援の充実

2 社会貢献等

(1) 社会との連携

- ・社会人に開かれた大学の充実
サテライト教室の運営[経済学研究科]、長期履修制度の導入準備
多様な公開講座の実施(21講座)
- ・高大連携講座受講生が入学した場合の単位認定の検討
- ・産学官連携の拡充
共同研究・受託研究の件数の増加(共同 150件→180件、受託 100件→120件)
特許出願 90件・特許取得累計 10件

(2) 国際交流

- ・国際交流協定、国際協力活動(JICA)を通じた国際交流の推進強化

II. 業務運営の改善及び効率化

1 運営体制の改善

- ・全学的な視点に立った経営戦略の推進と予算の重点配分の実施

2 教育研究組織の見直し

- ・総合リハビリテーション学研究科(修士課程)の設置準備(平成19年4月予定)
- ・「21世紀科学研究所」による、部局の枠を超えた共同研究の推進

3 人事の適正化

- ・教員活動評価の試行に向けた検討
- ・研究業績を反映した研究費配分制度の導入
- ・教員組織のスリム化(17年度に比して20名減)

4 事務等の効率化・合理化

- ・アウトソーシングや人材派遣サービスの活用
- ・学生サービス業務などへの契約職員の活用

III. 財務内容の改善

1 外部研究資金その他の自己収入の増加

- ・外部研究資金の獲得額の増加(5%→15%)
- ・インセンティブ保持方策による外部研究資金の獲得強化

2 経費の抑制

- ・教員人件費の削減(2.3%減)
- ・効率的な事務処理、人件費の抑制による事務職員の人件費及び管理的経費の削減(1%減)

IV. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供

1 評価の充実

- ・平成19年度実施に向けた全学的方針に基づく自己点検・評価の準備

2 情報公開等の推進

- ・広報誌による全国的な情報発信など戦略的広報活動の充実
- ・データベースを活用した効率的・迅速な情報発信

V. その他業務運営

1 施設設備の整備等

- ・総合教育研究機構棟の整備着手など
- ・キャンパスプランの見直しとりんくう及び中百舌鳥両キャンパスでの施設整備

2 安全管理等

- ・化学物質安全管理支援システムの運用など全学的な安全衛生管理・危機管理の実施

3 人 権

- ・研究倫理の基準や対応方針の設定